



## 岐阜県産業技術センター 環境・化学部 研究成果発表会・講演会

- ■ 主 催 ■ ■ 岐阜県産業技術センター  
■ ■ 日 時 ■ ■ 平成25年4月18日(木) 13:00~17:00  
■ ■ 会 場 ■ ■ 岐阜県産業技術センター3F講堂  
〒501-6064 岐阜県羽島郡笠松町北及47  
■ ■ 参加料 ■ ■ 無 料

◆◆◆◆◆◆◆◆◆ プ ロ グ ラ ム ◆◆◆◆◆◆◆◆◆

1. あいさつ 13:00~13:10  
2. 講演『ゴムプラスチックの成形加工時・使用時のトラブルと対策』 13:10~15:10

一般財団法人 化学物質評価研究機構 常務理事 高分子技術センター長  
国立大学法人 長岡技術科学大学工学部客員教授 工学博士 大武義人 氏

ゴム・プラスチックは、安価で自由に成形できることが最大の長所と考えられているが欠点も多い。また、成形時の些細なトラブルが、使用中のトラブルへと結びつくケースも多い。我々技術屋が成形時何をなせば良いのかを述べる。

- ① 材料選択ポリマーの注意点
- ② 成形時の注意点
- ③ 使用時の注意点
- ④ ゴム・プラスチックの破損、破壊

◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 講師との名刺交換及び休憩 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆

3. 研究成果発表会 15:20~16:20

①環境配慮型ものづくり産業支援プロジェクト

「熱的・力学的に優れたバイオマスプラスチック複合材料の開発研究」 研究員 丹羽厚至  
ポリ乳酸に添加するフィラーの表面官能基や複合材料の作製方法の違いによる物性の変化について報告する。

②環境配慮型ものづくり産業支援プロジェクト

「回収プラスチックの再資源化技術の開発」 専門研究員 菅原吉規  
再生プラスチックを利用する際に発生する問題とその原因究明に活用できる分析法について報告する。

③安全安心の清流の国づくり研究開発プロジェクト

「バイオ燃料の効率的生産技術の開発」 専門研究員 横山慎一郎  
県内に豊富に存在する林産資源の内、林地残材としてその処分が問題とされるスギの葉部について、そのバイオ燃料としての利用可能性について検討したので報告する。

④地域密着研究課題

「耐久性及びガスバリア性を有するバルーンカテーテルの開発」 主任研究員 浅倉秀一  
ウレタン製フィルムの作製方法が及ぼす表面形状や耐穿刺性への影響について報告する。

4. 所内見学 16:20~17:00

■ ■ 問い合わせ ■ ■

岐阜県産業技術センター 環境・化学部 藤田、窪田 TEL 058-388-3151  
〒501-6064 岐阜県羽島郡笠松町北及47 FAX 058-388-3155

■■■ 申し込み方法 ■■■

下記申込書にご記入の上、FAX又はメールにてお申し込みください。

申込期限：平成25年4月8日（月）

岐阜県産業技術センター 環境・化学部 研究成果発表会・講演会 参加申込書  
開催日：2013/4/18(木)

企業・機関名		連絡先	TEL
住 所			FAX
所属部課・役職	氏 名	メー ル ア ド レ ス	

\*メールアドレスをご記入頂けましたら、今後開催される行事案内を送付させていただきます。  
\*氏名等の情報について、第三者に情報を提供することはありません。

FAX 058-388-3155 / TEL: 058-388-3151  
メール info@iri.rd.pref.gifu.jp  
宛 先 環境・化学部 藤田、窪田 宛

